

姫路市立四郷学院 前期課程

いじめ防止基本方針



令和 7 年（2025 年）4 月

姫路市立四郷学院 前期課程 いじめ防止基本方針

姫路市立四郷学院 前期課程

1 本校の方針

「夢を持ち続け自己実現を図る子どもの育成」を目指す子ども像に据えて取り組んでいる。
生活指導で重点をおいて取り組む内容は以下の通りである

「開発的、予防的生活指導及び特別支援教育の視点を用いた指導」

- (1) しっかり話を聞く
- (2) 個人の考えや努力を、個別、もしくは集団の中で評価する
- (3) 児童のチャレンジ精神に応える
- (4) 児童に指導する前に、教師が規範意識を守る
- (5) 障害の有無に関係なく、使える支援方法は利用する

2 いじめについての基本的な考え

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。（文部科学省 いじめ防止対策推進法 第2条より）

- ① 文科省のいじめの定義をもとに、いじめは「どの子」にも「どのクラス」にも起こりうる問題として捉え、発見に努める。
- ② いじめはいかなる場合においても絶対に許さないという姿勢を児童に示す。
- ③ 問題の予兆を感じたり、問題が発生したりした場合は一人で抱え込まず、管理職・生活指導担当者に報告し、迅速に対応チームを組織し、対応策を考える。
- ④ 児童を発達途上の段階と捉え、問題を解決することでよりよい成長につながるよう指導する。
- ⑤ 保護者や関係機関との連携を密にし、様々な角度からアプローチできるよう対策を練る。

3 いじめ防止等の指導体制・組織対応等

(1) 日常の指導体制

教師と子供間

- ・学級経営の中で「困ったこと」「おかしいこと」を素直に教師に伝えられる関係作りをする。
- ・道徳の時間を核として、各種教育においても人権教育を意識した取り組みを行う。
- ・特別活動を通して人間関係を作る力を高め、各種教育の言語活動を充実させることで、伝える力を育てる。

教師間

- ・全ての児童に全ての教員で関わる姿勢を大切に、個々の児童の実態を共通理解する場を設定する。
- ・いじめ問題をみつける目や対応力を高める研修を行う。
- ・授業力を高めることが生活指導の充実につながると捉え、授業研究や教材研究に努める。

(2)未然防止及び早期発見のための指導計画

①教育活動を通した心の育成

(ア) 道徳の時間を核とし、道徳の内容項目を年間を通して網羅する学習計画を立て、児童の道徳的判断力、心情、実践意欲・態度の育成を図る。

(イ) 学校生活における月目標を掲げ、月ごとに評価を行う。各学級から努力した児童を選出し、氏名を掲示し、個人や集団の規範意識の向上と自尊感情の高揚を図る。

(ウ) 兵庫型教科担任制を導入し、複数の目による児童の見守りと、習熟度別指導、または個別指導を行い、基礎学力の定着を図ることで、自尊感情を高める。

(エ) 特別活動等を通して、児童自らがよりよい学級・学校づくりに参画していく経験を積むことで、自ら課題を見出し、誰もが気持ちよく解決できるようにしていこうとする姿勢を育む。

②なかよしアンケートの実施

人間関係に関するアンケートを用いて、児童の実態を知る手掛かりとする。**その際、アンケートの文言や、記名や無記名、家庭に持ち帰らせるなど、調査方法は毎回検討し、児童が自分の心身の苦痛を素直に表出できるようにする。**

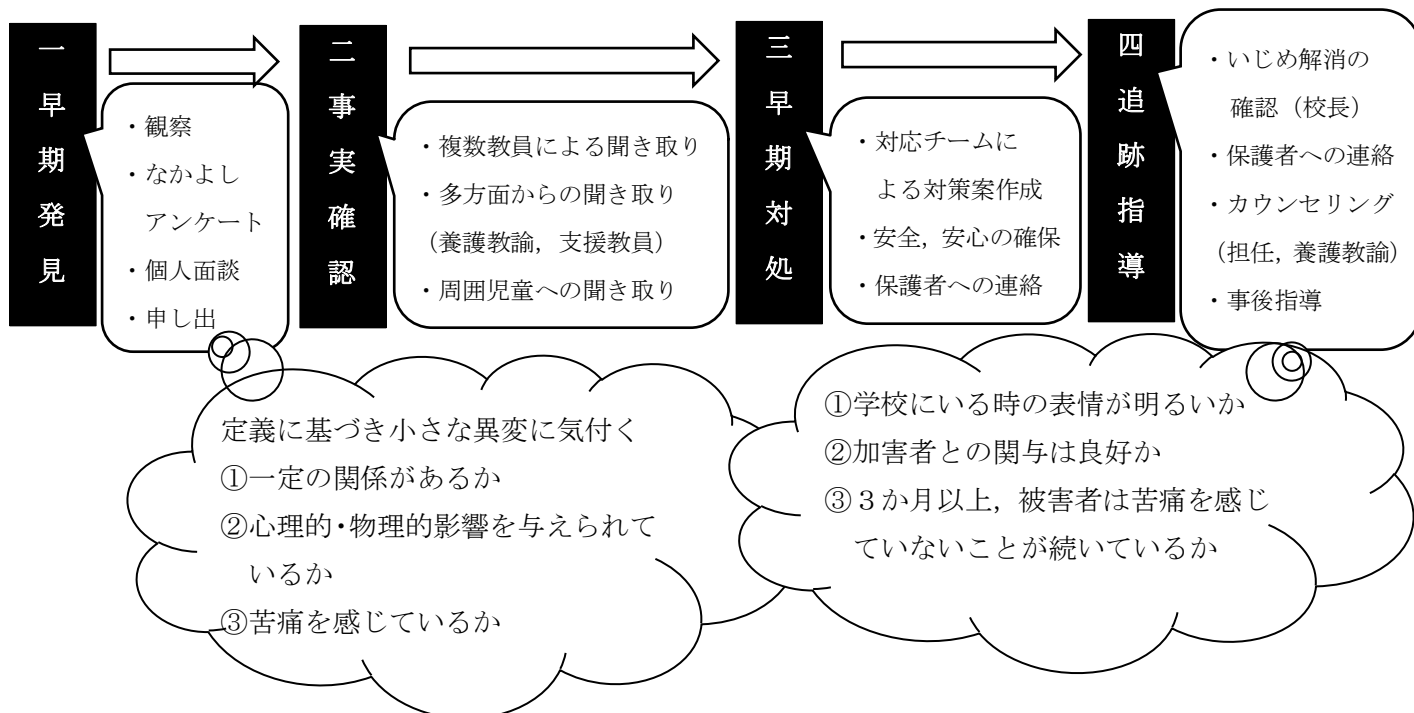
③個人面談

アンケートをもとに、気になる児童を個別で面談する。児童が心を開いて相談しやすいように、普段からの会話を心がける必要がある。

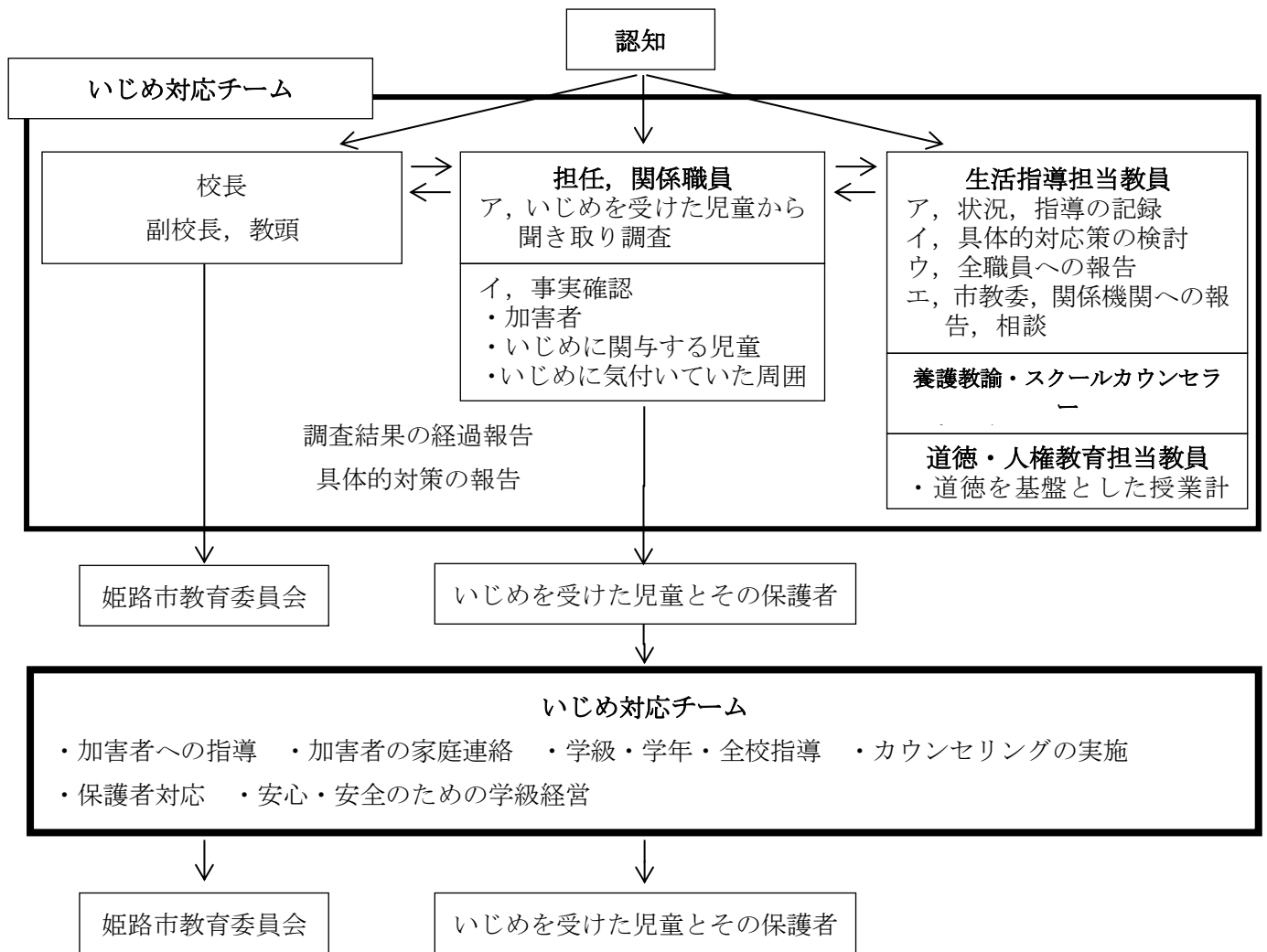
④その他の面談

個人面談をもとに、気になる児童、もしくはその周辺にいる児童の聞き取りを実施する。その際、担任だけではなく、様々な状況に対応できるよう、養護教諭や児童支援教諭、生活指導担当教諭など、状況に合わせて教諭を選ぶ。

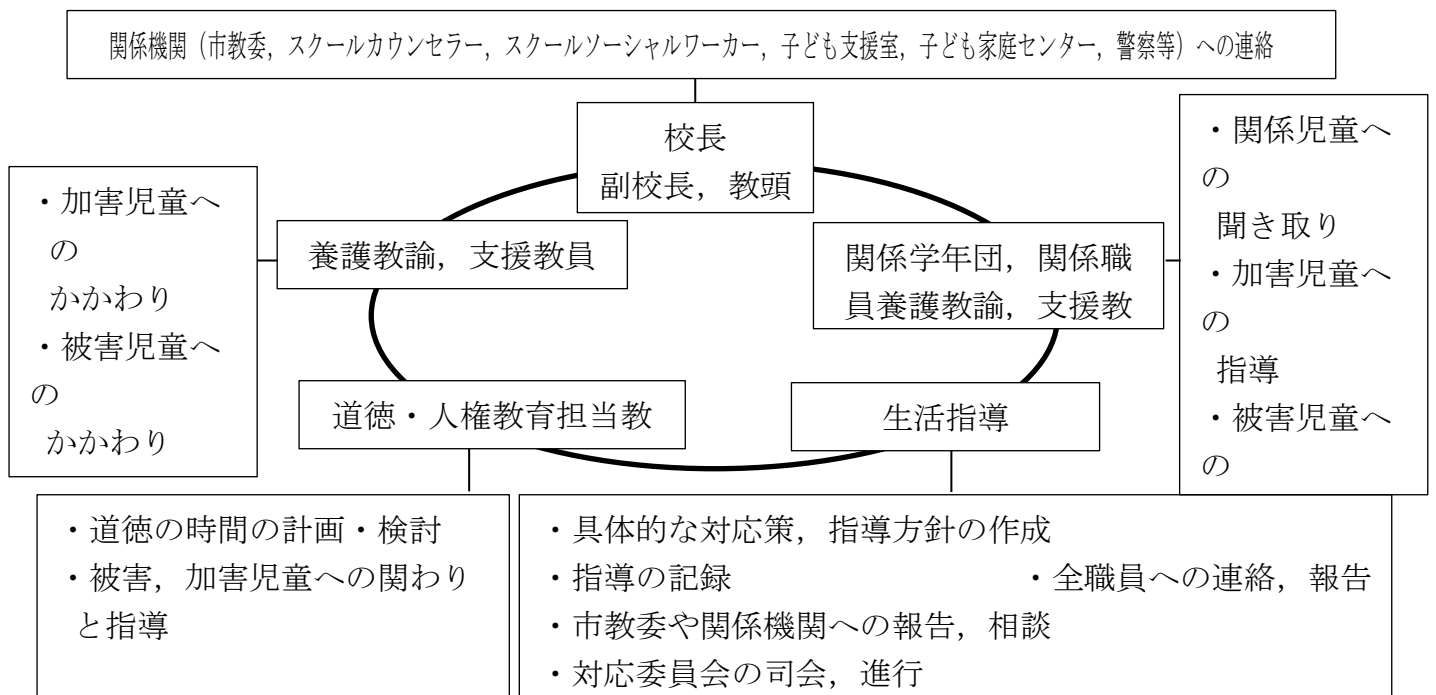
(3)いじめを認知した際の組織対応(具体図次ページ記載)



【いじめ対応チームの組織対応図】



【いじめ対応チームの役割と位置づけ詳細】

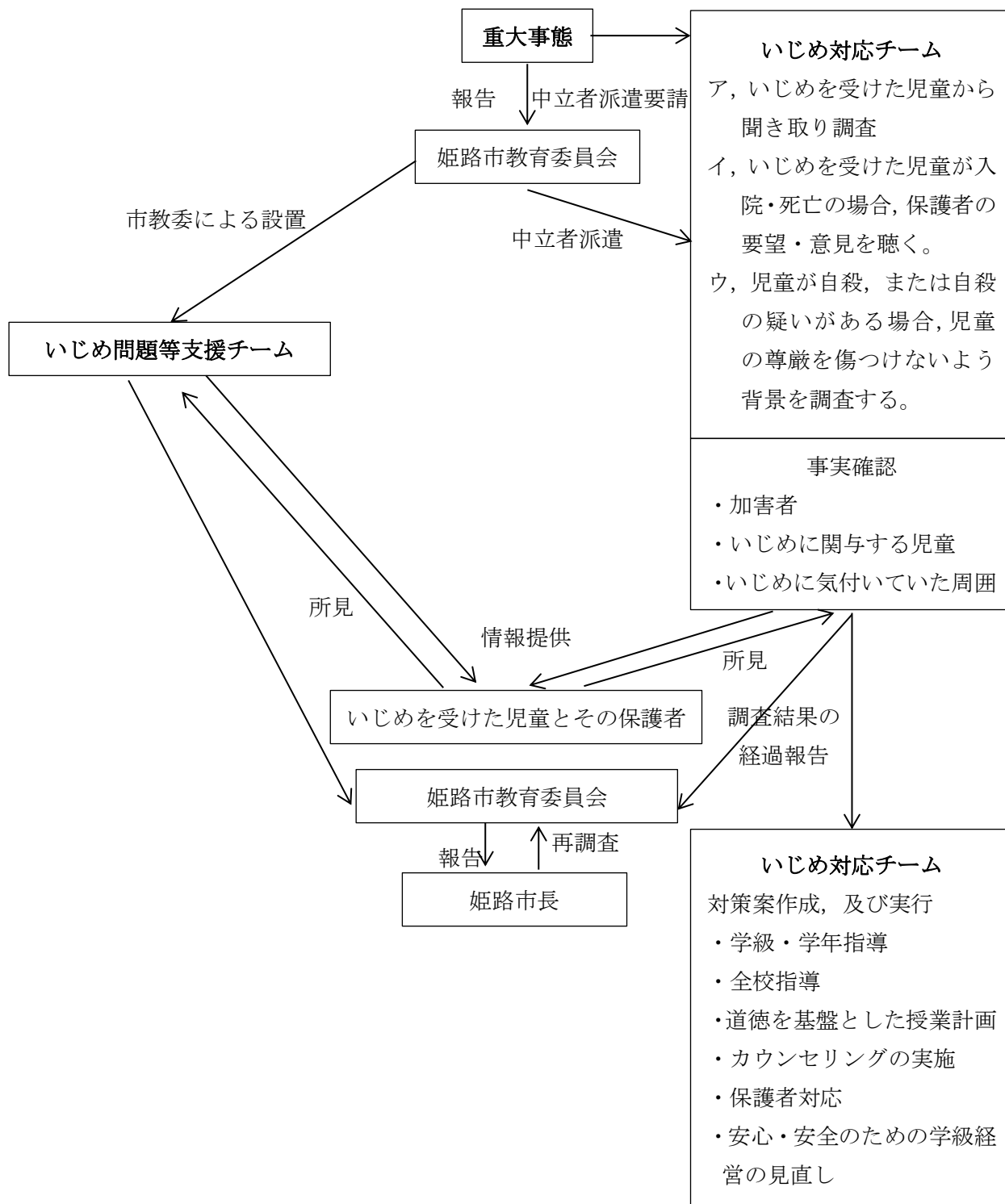


4 重大事態への対応

(1) 重大事態とは

- ① 児童が重傷を負った場合や、精神疾患に陥った場合、または自殺を図った場合
- ② 児童が金品等に重大な被害を被った場合
- ③ 児童が一定期間（約 30 日）、連続して欠席する場合
- ④ 児童やその保護者から申し立てがあり、いじめの疑いが認められる場合

(2) 重大事態への対応



5 年間計画

令和7年度 いじめを未然に防ぐ取組								
セルフエスティーム(セ) 目標設定(目) 意思決定(意) 対人関係(対) ストレス対処(ス) ※7月, 12月, 3月は学期ごとの重点目標を掲げる。								
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	年間を通した指導	全校
4月	学校探検をしよう(対) 学校案内(目, 対)	学校探検をしよう(対) 学校案内(目, 対)	体づくり体ほぐし運動(セ) 自分をしようかしよう(セ, 目)	目覚まし時計(目, 意)	のび太に学ぼう(セ, 目) 学級目標を考えよう(目)	目標に取り組もう(セ, 目) ほんとうのことだけど…(目, 意)	【日常生活】 ・毎月の生活目標(あいさつ・廊下の歩き方・持ち物の管理・もくもくそうじ・時間を守る・身だしなみなど) ・毎月の四郷つ子を語る会及び特別支援委員会	学級開き 1年生を迎える会
5月	『ありがとう』『あいさつのあるいちにち』(セ, 対)	町探検(目, 対)	さと子の落とし物(対)	あいさつができた(対, 意)	見方を変えよう(対)	それじゃ、だめじゃん(セ, 意) 言葉のおくりもの(セ, 対)		四郷大運動会 運動会を盛り上げよう(スローガン作成)
6月	『なかよし』(対)	ソーシャルスキルトレーニング(対, ス) およねないりすさん(対)	タグラグビー(意, 対) リレー(対, セ)	決めつけないで(意, 対)	やさしいユウちゃん(対)	問題を解決するために話し合おう(意, 対)	【当番活動】 ・日番 ・給食当番 ・清掃活動 ・班活動 ・委員会活動	プール
7月	『ふたりだけで』(対)	居住地校交流(意, 対)	環境体験(対, セ) 同じ小学校でも(対)	林間学校を成功させよう(目, 対)			【係活動・班活動】 ・係活動 ・代表委員会 ・クラブ活動	全校集会【クラスのいいところ紹介集会】 なかよしアンケート実施及び面談・学級指導
話し合いなどに積極的に参加し, 自分と異なる意見も理解しようとする。(人間関係形成・社会形成能力)								
9月	かずやくんのなみだ(対)	おじいさんからの手紙(対)	環境体験(対, セ)	つくればいいでしょ(セ, 対) エコパーク校外学習(目, 意)	のりづけされた詩(セ, 意) 自然学校を成功させよう(目, 意, 対, ス)	みんなの自由な公園(対, ス)		
10月	にんじんばたけで(意, 対)	ちっともおもしろくない(対)	後ろの正面だあーれ(対)	ぼくの三年とうげ(意, 目)	折れたタワー(セ, 対, ス)	修学旅行(目, 意, 対, ス)手品師(セ, 意, 対)		
11月	おふろばそうじ(セ, 目) 二わのことり(対)	ずるい? ずるくない?(対, セ) くりのみ(セ, 対)	いろいろなちがい(対)	いじりといじめ(意, 対) 姫路特別支援との交流(意, 対)	こまったプレゼントココロ部(対, ス, 意)	居住地校交流(意, 対) 私の伝えたいこと(対)		音楽発表会 なかよしアンケート実施及び面談・学級指導
12月	友だちと協力して, 学習や活動に参加する。(人間関係形成・社会形成能力)							
1月	ぼくってたからもの(セ)	ボールけりゲーム(意, 対)	プレルボール(意, 対)	バレーボール(対, 意)	すれちがい(対, 意, ス)	将来の夢や生き方について考えよう(目, 意)		全校なわとび
2月	やめろよ(対) あなたってどんな人?(セ, 目) ボールけりゲーム(意, 対)	なまけにんじゃ(セ, 目) ボール投げゲーム(意, 対)	ダブルブックング(目, 対) ラインサッカー(対)	10才の集い(セ, 目) よわむし太郎(セ, 意, 対)	これって不公平?(対)	ブランコ乗りとピエロ(セ, 対) 前向きな自己会話(セ)		なかよしアンケート実施及び面談・学級指導 6年生を送る会
3月	互いを認め合い, 友だちと高めあうことができる。(人間関係形成・社会形成能力)							進級式

6 アンケート資料

四郷っ子 なかよしアンケート（高学年）

年 組 番 名前

皆さんは、今年の四月から学校の友達のだれかに、いじわるをされたり、嫌な思いをさせられたりしたことがありませんでしたか。そうしたいじわるや嫌なことをされた人は、どうしてよいかわからずに、とても苦しい思いやつらい思いをしています。

これから皆さんに質問するのは、そうしたいじわるや嫌なことをされた体験についてです。（１）～（９）のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけましょう。

（１）冷やかしかからかい、悪口やおどし文句など、いやなことを言われる。

ほぼ毎日 ・ ときどき ・ ない

（２）話しかけても無視をされる。

ほぼ毎日 ・ ときどき ・ ない

（３）ぶつかってきたり、たたかれたり、けられたりして、いやな思いをしている。

ほぼ毎日 ・ ときどき ・ ない

（４）お金や物をわたすよう、せまられる。

ほぼ毎日 ・ ときどき ・ ない

（５）お金や物を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。

ほぼ毎日 ・ ときどき ・ ない

（６）嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。

ほぼ毎日 ・ ときどき ・ ない

（７）パソコンや携帯電話等で嫌なことを書かれたり、見せたくない写真を他の人に見せられたりする。

ほぼ毎日 ・ ときどき ・ ない

（８）友達がいじわるをされたり嫌な思いをしていたりするのを見たことがある。

ほぼ毎日 ・ ときどき ・ ない

（９）嫌なことをされた時、相談できる人がいますか。それはだれですか。

はい（ ） ・ いいえ

四郷っ子 生活アンケート（低学年）

ねん くみ ばん なまえ

みなさんは、ことしの4がつから、がっこうのともだちのだれかから、いじわるをされたり、いやなおもいをさせられたりしたことはありませんでしたか。そのような思いをした人はどうしてよいかわからずに、とても苦しい思いやつらい思いをしています。そのようなことがおこらないように、つぎのしつもんにとたえましょう。

- (1) 悪口^{わるくち}や傷^{きず}つくような言葉^{ことば}など、いやなことを言われる。

ほぼまいにち ・ ときどき ・ ない

- (2) 仲間^{なかま}はずれやはなしかけても無視^{むし}をされる。

ほぼまいにち ・ ときどき ・ ない

- (3) ぶつかってきたり、たたかれたり、けられたりして、いやな思い^{おも}をしている。

ほぼまいにち ・ ときどき ・ ない

- (4) お金^{かね}や物^{もの}をわたすようにいわれる。

ほぼまいにち ・ ときどき ・ ない

- (5) お金^{かね}や物^{もの}をかくされたり、とられたり、こわされたり、すてられたりする。

ほぼまいにち ・ ときどき ・ ない

- (6) いやなことやはずかしいこと、きけんなことをされたり、させられたりする。

ほぼまいにち ・ ときどき ・ ない

- (7) パソコンやけいたいでんわでいやなことを書^かかれたり、言^いわれたり、見^みせたくない写真^{しゃしん}をともだちに見^みせられたりする。

ほぼまいにち ・ ときどき ・ ない

- (8) ともだちがいじわるをされたり嫌^{いや}な思い^{おも}をしていたりするのをみたことがある。

ほぼまいにち ・ ときどき ・ ない

- (9) いやなことをされたとき、そうだんできる人^{ひと}がいますか。それはだれですか。

はい () ・ いいえ